

報道関係各位

2025年 6月 25日
株式会社サンシャインシティ

子どもたちの活躍の場と自由な想像力を応援「絵本」のコンクールとコラボ 読書離れ・書店減少の中で、幼少期から親子で一緒に本に触れ合う機会を創出

文芸社「えほん大賞」に サンシャインシティ「絵本の森」賞が登場



サンシャインシティ 噴水広場で行った第25回えほん大賞 授賞式の様子

株式会社サンシャインシティ(東京都豊島区、代表取締役社長：脇英美)が展開する絵本をテーマにファミリーにむけたイベントを通年で行う「絵本の森」と、株式会社文芸社(東京都新宿区、代表取締役社長：瓜谷綱延)が主催する絵本公募コンクール「文芸社出版文化振興基金 第29回えほん大賞」がコラボレーションを実施します。

本コラボは、当社と文芸社の「子どもたちの活躍の場の提供や自由な発想を応援したい」という思いが合致し、2023年に初めてコラボレーションを実施し、今回で3回目の取り組みとなります。応募数は年々増加しており、ファミリーから厚いご支持をいただいております。今回もコンクール内に小学生以下のお子様を対象とした「サンシャインシティ 絵本の森」賞を設けます。受賞者の方には、サンシャインシティ 噴水広場で開催される授賞式にご登壇いただきます。また、受賞作品は屋内大型商業施設として国内最大級を誇る噴水広場の大型ビジョンや、「絵本のひろば」の大画面テレビ絵本で上映される予定です。本コラボを通じて、子どもたちが本に触れ合う機会を創出し、活躍の場や貴重な体験を提供することで、心に残る思い出をお届けします。

また、ワークショップや読み聞かせ会など、親子で参加できるイベントも多数開催予定です。

●文芸社文化振興基金 えほん大賞

文芸社が主催している全国的な規模の絵本の公募コンクール。絵本事業を通じ「豊かな社会の創造」に貢献すべく、2011年1月に第1回の募集を開始以降、年2回のサイクルで14年間にわたり開催。大賞作品は文芸社より書籍化・出版。

多くのファミリーが訪れる商業施設の特性を活かし、幼少期から本に出会う機会創出

全国の小中高生を対象とした調査によると、月に1冊も本を読まない子どもが増加傾向にあります。小学生(4~6年生)は2004年以降、中学生は2006年以降で過去最高となっており、高校生の不読率も約50%と高い水準が続いています。*1
こうした状況を改善するためには、子どもの成長段階に合わせた読書習慣づくりが重要であり、絵本の読み聞かせの実施や絵本を手渡す活動「ブックスタート」など、様々な機関が連携し、乳幼児と大人と一緒に過ごす時間を大切にしながら、家庭における子どもの読書活動の推進を図るきっかけをつくりだすことが重要な取り組みの1つとされています。*2

サンシャインシティでは、「絵本の森」プロジェクトを通じて、絵本をテーマにした年間イベントの開催や、館内で絵本を自由に読めるスペースを設けるなど、親子のコミュニケーションを深める時間と絵本に出会う場を提供しています。幼少期から本と触れ合う機会を増やすことで、子どもたちの読書活動を支援しています。また、地域と連携し、図書館司書や絵本専門士による読み聞かせイベントや、不要になった絵本を回収して無料配布するプレゼント会も実施しています。

サンシャインシティでは、今後も多くのファミリーが集まる大型複合施設だからこそ実現できる、絵本を通じた親子の関わり合いや回らんの時間を提供してまいります。

*1 公益社団法人全国学校図書館協議会 | 第69回学校読書調査(2024年) : <https://www.j-sla.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html>

*2 文部科学省 | 子どもの読書活動の推進に関する有識者会議 論点まとめ : https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/040/attach/1402566.htm

報道関係者様からの
お問い合わせ先株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・大木・佐藤・藤村・小山・大浦
TEL.03-3989-3329 (平日9:30~18:00) FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部5局2部 内山・志野・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。

第29回えほん大賞「サンシャインシティ 絵本の森」賞 概要

応募期間：6月25日（水）～10月10日（金）※当日消印有効

- 大賞●文芸社より書籍化・出版 副賞として賞金50万円
 - 優秀賞●賞状 副賞として賞金10万円
 - 特別賞●賞状 副賞として賞金5万円
- 対象：不問

●「サンシャインシティ 絵本の森」賞●

対象：小学生以下（応募時）

入選数：最大3作品程度

※応募規定等詳細は、えほん大賞公式ウェブサイトをご覧ください

第29回えほん大賞公式ウェブサイト：<https://www.bungeisha.co.jp/ehon/>

＜入賞特典＞

- ・賞状、サンシャイン水族館とサンシャイン60展望台 てんぼうパークの特別入場券（各5枚）
- ・図書カード5,000円分を贈呈。

・受賞作品は、サンシャインシティ 噴水広場の大型ビジョン
ならびにサンシャインシティ アルパ1F「絵本のひろば」の
大画面テレビ絵本での上映を予定。

＜授賞式＞

日程：2026年2月15日（日）

場所：サンシャインシティ 噴水広場

大賞・優秀賞・特別賞を含めた授賞式を開催。

お子様が参加しやすいよう、絵本の森オリジナルのお子様
向け応募用紙を作成しました。
サンシャインシティ館内のチラシラックで配布する他、
えほん大賞公式ウェブサイトからもダウンロードいただけます。



「絵本のひろば」の大画面テレビ絵本

絵本の森オリジナル応募用紙

サンシャイン60展望台 てんぼうパークでもイベント開催！

サンシャイン60展望台 てんぼうパークでは、えほん大賞とのコラボレーションによる親子向けイベントを、7月20日（日）に開催します。海拔251mの絶景とともに、芝生が敷かれた開放的な空間で、親子でゆったりと絵本を楽しめるスペースをご用意します。

会場には、オリジナル絵本を描けるコーナーを7月20日（日）～8月31日（日）に設置。7月20日（日）は作品づくりのヒントや絵を描く楽しさやコツを学ぶことができるワークショップを開催いたします。完成した作品はその場で「えほん大賞」に応募することができます。さらに、30年の実績を誇るスペシャリストによるパネルシアター*や絵本の読み聞かせ会も実施。物語の世界に引き込まれる特別なひとときをお過ごしください。

パネルシアター：不織布で作られた絵人形をパネル布に貼り付け、自由に動かしながら展開されるお話や歌遊びのこと。1973年に日本で誕生し、幼稚園や保育園などの教育・保育現場で親しまれています。

日程：7月20日（日）※オリジナル絵本制作コーナーは7月20日（日）～8月31日（日）まで設置

時間：【おはなしづくりワークショップ】11:00～16:00

【パネルシアター】13:00～ / 14:00～（各回約20分）

場所：サンシャイン60展望台 てんぼうパーク イベントスペース

料金：展望台入場料のみでお楽しみいただけます

報道関係者様からの
お問い合わせ先株式会社サンシャインシティ コミュニケーション部 広報担当 成保・大木・佐藤・藤村・小山・大浦
TEL.03-3989-3329（平日9:30～18:00） FAX.03-3989-3451 pr@sunshinecity.co.jp共同ピーアール株式会社 PRアカウント本部5局2部 内山・志野・高橋
TEL.03-6260-4861 sunshinecity-pr@kyodo-pr.co.jp

※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。

NEWS RELEASE

絵本の森について

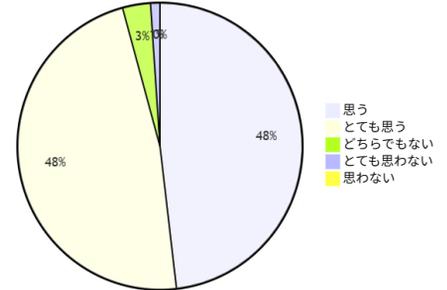
再来場意向96%！ファミリーから高い支持を得ています。

サンシャインシティがファミリーにとってよりいっそう“楽しく”“居心地よく”“安心して”過ごせる場所になるためのプロジェクト「Sunshine City FAMILY project（サンシャインシティファミリープロジェクト）」の一環として行う「絵本の森」。

専門店街アルパ1Fにテレビ絵本や貸出絵本を楽しめるスペース「絵本のひろば」を設置し、家族団らんの時間をお過ごしいただいております。館内では不要になった絵本を回収し、回収した絵本をプレゼントするお渡し会も不定期で実施しております。その他、図書館司書や絵本専門士による読み聞かせ会やワークショップなど絵本を通して、サンシャインシティが“親子で楽しめる場所”を目指して2021年より展開している企画です。

「絵本のひろば」利用者アンケートでは、**来場者の約8割が未就学児を連れてファミリーであり、再来場意向は96%と、非常に高い支持を得ています。**ファミリー世帯数が増加している豊島区*のなかで、親子で安心して過ごせる場を提供しています。

「また絵本のひろばを利用したいと思いますか？」
n=189名（絵本のひろば利用者）



サンシャインシティ 絵本の森公式ウェブサイト：<https://sunshinecity.jp/file/official/ehonomori/>

*「豊島区基本計画2022-2025」17Pより

■ 絵本のひろば

大画面のテレビ絵本にて、毎日6作品以上の絵本を公開する他、多数の絵本もご用意。ご家族の休憩場所としてもご利用いただけます。ひろばには、樹に見立てたフォトスポットがあり、四季に合わせ樹の装いも変化します。

■ 絵本回収と絵本プレゼント会

ご家庭で読まなくなった絵本を回収する絵本の回収ボックスを館内に設置し、**これまでに約5,200冊を回収**。集まった絵本はイベントなどでお渡し会を行い、池袋地域のご家庭を中心に、これまでに**約4,200冊の絵本をプレゼントしました**。様々なイベントで絵本の回収を行い、子どもたちに届けていくことで、一人ひとりが資源を大切にする意識づくりへの貢献を目指すとともに、現代の子どもたちが気軽に絵本に触れる機会を創り、感性や想像力を育む時間を提供します。絵本プレゼント会は今後も不定期で開催予定です。

■ 絵本読み聞かせ

図書館司書や、絵本に関する高度な知識とスキルを持つ「絵本専門士」による絵本の読み聞かせを年間で8回程度実施しています。

■ 地域との連携について

「絵本」を通して豊島区とも連携し、地域全体で子どもたちが絵本に出会ったり、家族団らんの時間を創出しています。

豊島区立図書館と連携し、定期的に豊島区立図書館司書による読み聞かせをサンシャインシティ「絵本のひろば」にて開催しています。

また、豊島区内の地域コミュニティ拠点「区民ひろば」でも、絵本のリサイクルボックスで集まった絵本を無料でプレゼントし、大切に読まれた絵本を地域のなかでも循環させ、次の世代へ繋げています。さらに、「絵本のひろば」をテーマにしたサンシャインシティ 絵本の森 オリジナル絵本の寄贈も行いました。

■ サンシャインシティ 概要

所在地：東京都豊島区東池袋3-1

営業時間：各施設により異なる

問合せ先：サンシャインシティ総合案内 03-3989-3331 <https://sunshinecity.jp>



※状況により、内容・スケジュールが変更になる場合がございます。※画像はイメージです。